

ねえ市長さん聴いて 高校生などと移動市長室

「移動市長室」は10月10日から11月17日まで、市内15カ所で開かれ、市民などが熊谷市長とまちづくりについて、意見を交換しました。

移動市長室は、市長が直接市民の声を聴き、まちづくりに反映することが目的。本年度は、行政区長などを対象に旧町域ごとに9回、子育て世代を対象に3回、市内3高の生徒を対象に3回開催しました。30日に登米高で開かれた移動市長室では「バス停や街路灯を増やしてほしい」などの意見が寄せられました。同高2年の伊藤亮さんは「市長に、直接意見を届けられるのは貴重な機会。また参加したいです」と目を輝かせていました。



高校生を対象にした移動市長室は、今回が初めての試み。熊谷市長は、高校生の柔軟な発想に感心していました。

秋にスポーツ親しむ スポーツまつりで汗流す

「第12回登米市スポーツまつり」は10月9日、北方小学校を主会場に開かれ、大勢の市民がスポーツの秋を楽しみました。

スポーツまつりは、ふるさとウォーキングをメインにスポーツ体験が催され、約350人が参加。同日はメイヤーズウォークも併催され、熊谷盛廣市長がウォーキングに参加し、参加者と交流を深めました。三浦由紀さん(49)＝石越町長根＝は「今回、はじめて参加しましたが、無事に完歩。楽しく気持ちよく歩けました」と満足した表情を浮かべていました。



ノルディックウォーキングは、肩甲骨付近も動かし、全身の筋肉をたくさん刺激するので、体力づくりなどに効果的です。

2度の大臣賞の快挙 県農林産物品評会で評価

平成29年度県農林産物品評会(県主催)で、千葉利広さん(56)＝豊里町加々巻＝の「水稲うるち玄米(ササニシキ)」と猪股剛さん(44)＝中田町大泉＝の「りんご(シナノスイート)」が、普通作物部門と果実部門でそれぞれ最高賞の農林水産大臣賞を受賞し10月26日、市役所へ受賞報告に訪れました。

審査では栽培技術と品質の高さが評価され、千葉さん、猪股さん共に、平成26年度に続き2度目の最高賞を受賞。二人は「『より良い作物を届けたい』との努力が評価され大変うれしい。今後も、高品質の作物づくりに取り組んでいきたい」と意気込んでいました。



2度目の最高賞受賞の喜びを、熊谷市長に報告する猪股さん(写真左)と千葉さん(同中)。

未来を変える一票に 高校生が選挙事務を体験

登米総合産業高の3年生2人は10月15日、市役所迫庁舎で、衆院選、県知事選期日前投票所の選挙事務を体験しました。

市選挙管理委員会が、高校生に選挙の大切さを知ってもらおうと企画したもので、市内3高に募集を依頼。14日は佐沼高の2人が、21日は登米高の2人が投票用紙交付業務を担当しました。生徒は「候補者名を書いてください」などと言いながら、来場者に用紙を手渡しました。15日に作業をした只野紀香さんは「多くの人が投票する姿を見て、一票の積み重ねが未来を変えると感じました」と投票の重要性を再認識していました。



投票用紙を交付する只野さん。慣れない作業に、最初は緊張しましたが、終盤はスムーズに対応していました。

「登米無双2」を公開 第2弾市PR動画が完成

「登米市PR動画完成披露発表会」は11月6日、宝江ふれあいセンターで開かれ、約100人の来場者がいち早く「登米無双2」を鑑賞しました。

発表会は、トメ役の金子早苗さんと、トメの弟子、サチ役のHanaさんが撮影秘話などを紹介。試写では、前作に加え、本市の「食の恵み」、「人の豊かさ」、「生活感」などが盛り込まれた内容に、来場者から大きな拍手が送られました。女子高生役を演じた堀内萌々華さん(17)＝中田町本町畑中＝と新田瑞希さん(16)＝米山町新田＝は「出演しているのが不思議な感じ。多くの人に登米市の魅力が伝わってほしい」と話していました。



「登米無双2」は、新たなキャラクターも加わりパワーアップ。動画の公開と同時に体験企画も開始。詳細は tome-pr.jp から。

長年の功績認められ もくもく安全隊全国表彰

平成29年全国地域安全運動中央大会(公益財団法人全国防犯協会連合会・警察庁主催)で、津山町のボランティア団体「もくもく安全隊」が全国防犯協会連合会社会安全貢献賞を受賞し10月20日、市役所へ受賞報告に訪れました。

同賞は、全国で30団体に贈られ、県内での受賞はもくもく安全隊だけ。もくもく安全隊は、津山町内の通学路で街路灯が少ない区間に、自前でソーラー式ライトを設置、地域の見守りや津山地区防犯指導隊などの活動をするなど、長年にわたり地域防犯活動に尽力してきました。



報告に訪れた佐藤さん(写真左)と遠藤さん(写真右)は「今後も地域のために頑張りたい」と気持ちを新たにしていました。